

道づくり



塩の道でなく、御齋所街道ごさいしょかいどうを利用するようになったのは、どうしてかな。

御齋所街道が今のような道路になったのは、いつごろかしら。



おじいさんの話

三株山みかぶやまをこえる道は、せまくて急な山道で、人や馬は通れても、荷車にぐるまは通ることができなかったんだよ。

1890年（明治23年）のことだが、その不便べんさに苦しんでいた人たちは、けわしくきけんな御齋所街道を、広くて安全な道になおすことを考え、県に工事をねがい出たんだよ。翌1891年（明治24年）、県のゆるしを受け、いよいよ工事がはじまったのだが、今のようないきかいきかい機械もなかったため、多くの人と日数がかかり、きけんな場所では命を落とす人まで出たんだよ。だが、翌年、人々の長い間のねがいであった工事は終わり、御齋所街道は県道になったんだよ。

▶ 御齋所街道の工事が終わった喜びをよんだ句碑くひ



国会の開けるけふと諸共に
共に開らける御齋所の道

当時の工事のようす

